

「Unit3 Career Day」 ～ society5.0 (人生 100 年時代) を君たちはどう生きるか ～

本単元で育成する資質・能力

(教科・学校) 表現力, コミュニケーション能力, 主体性

- 1 日時 令和2年9月18日 13:00～13:50
- 2 学年 第2学年3組 (男子15名 女子16名 合計31名)
- 3 場所 新館3F 2年3組教室
- 4 単元について

○ 教材観

本単元は、生徒にとって身近な話題である職業体験を扱っている。中学2年生のこの時期は、漠然とした夢から自分の将来の職業について具体的に考え始める時期でもある。またなでしこジャパンのキャプテン宮間あやさんの事例は、スポーツの話題で生徒が興味を持ちやすく、英語を使って世界へ活躍の場を広げるモデルの一つにもなり得る。キャリア教育の視点から、自分の将来の夢から society5.0 の時代を生きていく姿を考えるきっかけに適している単元である。

将来の夢を語るうえで欠かせない want to... など不定詞の3つの用法が扱われている。この言語材料を用いることで、場面に応じた表現の幅を広げることができる。

新学習指導要領における1目標(4)話すこと〔発表〕イ「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。」を指導することと位置づける。

○ 生徒観

本学級の生徒は、授業に意欲的に取り組む生徒が多く、音読練習において意欲的に声を出しており、また発問に対しても積極的に挙手をして発言するなど、前向きに学習に取り組んでいる。しかし、小学校からの外国語活動の成果が十分うかがえる生徒がいる反面、生徒間の学力差は大きく、音とつづりとの関係の理解ができておらず、発音はできてもその単語や文章を書くことが難しい生徒もいる。

「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」や「つなぎ言葉を用いることなどいろいろな工夫をして話を続けること」については、多くの生徒において、It is interesting. などの短文で伝えることはできるが理由をとまなうなど、複数の文章で具体的に伝える事は難しい。

	肯定的な評価
英語の授業では、ペアやグループなどで活動を行うことが好きです。	92.8%
英語の授業では、話が続くようにつなぎ言葉などを用いて話しています。	85.7%
英語の授業では、知らない表現が出てきたときは、これまでに習った他の表現を使って話しています。	89.2%
英語の授業では、聞き手を意識して、自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話しています。	89.2%

○ 指導観

指導に当たっては、ソーシャルディスタンスを保ちながら、実践的な会話能力を育成する観点から、ペア活動やグループ活動を積極的に取り入れ、自分の思いを表現させる場を多くもつことに重点を置いている。「聞くこと」「話すこと」ができれば、英語がわかったという自信に少しでもつながり、学習への意欲や「書くこと」への意欲につながると考えている。

本単元の指導に当たっても、ペア活動やグループ活動を生かし、様々な表現方法を友達から知り、理解させ、自分の将来について語れる力をつけたい。また小学校で自分の夢を語る経験をしているので、過去と現在を対比し、society5.0の時代を生きる姿を述べさせたい。生徒が自分で調べた情報を用いながら、スピーチを行う。小グループでスピーチの練習を行い、聞き手を意識したスピーチになるようにアドバイスをしながら、互いによりよいものにしていく過程を重視し、評価する。

5 学校が育成を目指す資質・能力

本校が教育課程全体を通じて育成を目指す資質・能力は、「表現力、コミュニケーション能力、主体性」である。この目指す資質・能力を育成するためには、各教科・領域等の授業における「展開場面」において、生徒が主体的に活動している時間の質と量を高めることが重要である。更に、生徒が主体的に活動するためには、「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」が不可欠であると考え、研究を重ねている。

本単元においても、本校では「強い問題意識と達成欲求を抱かせる課題設定」を行い、少人数班で考えを何度も練り直させ、思考したことをミニホワイトボードに表現した後全体へ発表させるスタイルをとっている。

資質・能力	知識・スキル			意欲・態度	
	授業の展開の場面で (ミニホワイトボード等を使用して)	表現力・コミュニケーション能力			主体性
レベル1		(話す speak) ○自分の考えや意見を、自分のことばで表現することができる。	(聞く) ○相づちを打ちながら、途中で口をはさまず、きくことができる。	(やり取り) ○話を聞いて質問することができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、取り組もうとしている。
レベル2		(話す tell) ○自分の考えや意見を根拠を挙げて、相手を意識しながら、適切な方法で表現することができる。	(聴く) ○相手の話の組み立てや構造を考え、話の意図や要点を整理しながらきくことができる。	(やり取り) ○話を聞いて、内容を深めるために質問ができる。	○課題に対して、自分の考えを持ち、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル3		(話す talk) ○自分の考えや意見を、根拠を挙げて分かりやすくまとめ、目的や場に応じて、適切な方法で論理的に表現することができる。	(訊く) ○相手の考えについて、根拠の信頼性を判断しながらきき、話された内容と自分の意見をふまえて共通点や疑問点を明確にし、相手にたずねることができる。	(やり取り) ○話を聞いて質問をした後に、自分の意見を述べ、内容をさらに深めることができる。	○自ら課題を見つけ、自分の考えを持ち、よりよい方法を選択し、自ら進んで取り組もうとしている。
レベル4		自らが司会をして、少数意見を尊重しながら、臨機応変に対応し、話し合い活動ができる。			

6 単元目標

- 何かをする目的を述べることができる。【表現】
- 夢や希望などについて述べるができる。【表現】
- レポートを読んでその内容を理解することができる。【理解】
- 情報をつけ足して説明することができる。【表現】
- 自分の行きたい場所やしたいことなどについて、たずねたり相手を意識して伝えたりすることができる。 【関心・意欲・態度】【表現】

7 評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。	・自分のことについて書くことができる。 ・自分の将来について話すことができる。 ・聞き手を意識したスピーチができる。	・対話や将来の夢を聞いて、その情報を聞きとることができる。 ・感想や夢について文の内容を読みとることができる。	・不定詞（名詞的・副詞的・形容詞的）の意味・用法に関する知識を身につけている。

8 指導計画（全14時間）

過程	次	学習内容（時数）	観 点				評 価	
			関意	表現	理解	知識	評価規準	資質・能力 （評価方法）
単元を貫く問い（探究課題の萌芽） society5.0(人生100年時代)を君たちはどう生きるか								
課題の設定	1	・不定詞の副詞的用法の理解（1時間）				○	・不定詞（副詞的）の意味・用法に関する知識を身につけている。	【主体性】（観察）
		・本文理解（1時間）			○		・感想や夢について文の内容を読みとることができる。	【主体性】（観察）
情報収集	2	・不定詞の名詞的用法の理解（1時間）				○	・不定詞（名詞的）の意味・用法に関する知識を身につけている。	【主体性】（観察）
		・本文理解（1時間）			○		・感想や夢について文の内容を読みとることができる。	【主体性】（観察）
	3	・不定詞の形容詞的用法の理解と不定詞のまとめ（1時間）				○	・不定詞（形容詞的）の意味・用法に関する知識を身につけている。	【主体性】（観察）
		・本文理解（1時間）			○		・感想や夢について文の内容を読みとることができる。	【主体性】（観察）
4	・本文理解（1時間）			○		・感想や夢について文の内容を読みとることができる。	【主体性】（観察）	
まとめ	5	・聞き取りとコミュニケーション活動（1時間）	○		○		・対話や将来の夢を聞いて、その情報を聞きとることができる。 ・たずねたり、答えたりすることができる。	【コミュニケーション能力】（観察）
		・日常生活について英語でメールを書く（1時間）		○			・自分のことについて書くことができる。	【表現力】（ワークシート）
創造	6	・将来の夢について表現する（1時間）		○			・自分のことについて書くことができる。	【表現力】（ワークシート）

表現	・100年時代を生きる自分の姿を伝える【本時3/4】	○	○	・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。 ・自分の将来について話すことができる。 ・聞き手を意識したスピーチができる。	【主体性・表現力】(観察・ワークシート)
----	----------------------------	---	---	---	----------------------

単元を貫く問いの終結

小学生の時の夢と現在を比較し、人生100年時代を生きる自分の姿を考えることができる。スポーツ選手になり引退したあとどうするのか、定年まで勤めた後どのような生活を過ごすのかなど、考え伝えることができる。

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- society5.0 を生きる自分の姿を聞き手に伝わるように表現しよう。

(2) 本時の評価規準

- ・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(3) 準備物

- ・アドバイスカード ・ワークシート ・辞書

(4) 学習の流れ (13時間目/全14時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力【評価方法】
1 既習事項の確認。【3分】		
○前時の活動の確認	◇原稿を確認させる ◆聞き手を意識したスピーチになるように原稿を読ませる	
2 本時の学習課題を設定する。【1分】		
○学習課題の確認		
学習課題 「よりよいスピーチになるように、アドバイスしよう」		
3 本時のねらいを確認する。【2分】		
○ねらいの確認	◇ワークシートを配布し、ねらいを確認する	
ねらい 「society5.0 を生きる自分の姿を聞き手に伝わるように表現できる」		

単元を貫く問い

考える
子ひい

4 情報を整理・分析し、課題を見つける。[30分]		
○グループで発表し合い、アドバイスカードの記入をする	◆項目に沿っててアドバイスを書かせる	・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。 〔関心意欲態度〕
予測される生徒の態度 A評価 たくさんアドバイスを書いている B評価 声の大きさについてしかアドバイスしていない		
○モデルスピーチを見て、気づきを出し合う	◇スピーチのポイントを確認する ◆原稿を読むだけの発表にならないようにする	
<p>Hello! I'm Keiko TANEMOTO. I wanted to work at a hospital as a technician about 20 years ago. It's a kind of doctor, checking blood or something. But now I want to be an English teacher. I have two reasons. First, I like to talk with foreign people. Second, I like to teach. From my 20' s to 60's, I'm going to be an English teacher. In my 50's, I am going to be a member of volleyball referees in the Olympic Games. In my 70's, I want to see my grandchildren. And I'm going to visit my referee friends in Asia. This is my life plan. Thank you.</p>		
○モデルスピーチを聞いて気づきを書く	◆ワークシートに気づきを記入させる	
5 課題解決をする。[15分]		
○改善を考える		★表現力（観察）
○再度スピーチをグループでし合い、アドバイスカードに書き込む	◇1 回目のアドバイスとモデルスピーチを聞いて気づいたことを改善したスピーチをさせる	
予測される生徒の変容 A評価 1 回目のアドバイスとモデルスピーチを活かしてスピーチしている B評価 1 回目と全く変わらない		

6 本時を振り返り, 次時につなげる。[4分]

○ 1 回目のスピーチからの
変容を踏まえて振り返り
を書く。

生徒の振り返りの例

- ・友達に理解してもらえてうれしかった。アドバイスを意識して本番のスピーチをがんばりたい。
- ・具体的な内容のスピーチだった。文章を加えたい。
- ・友達の考えている事が知れて新鮮だった。将来が楽しみ。
- ・アドバイスをすることができた。

○ あいさつをする

ねらいに対する評価規準を示すルーブリック (パフォーマンス評価)

尺度 (評点・レベル)	記述語
A (理想的)	聞き手 (クラスのみんな) が理解できるスピーチになるように, 表情やスピードに加え, 内容についての改善することができる
B (合格)	聞き手 (クラスのみんな) が理解できるスピーチになるように, 表情やスピードなどについての改善策することができる
C (乗り越えさせたい実態)	改善が見られず, 聞き手のことを考えていないスピーチになっている

(5) 板書計画

Warm up Presentation Evaluation	Unit 3
	Task よりよいスピーチになるように, アドバイスをしよう。
	Today's Goal

society5.0を生きる自分の姿を聞き手に伝わるように表現できる

<チェック項目>

- ・声 (大きさ・強弱・スピード)
- ・表情
- ・伝えるための工夫